



検証と評価

その昔、仕置き人というテレビ番組があったが、仕分け人という方々の活動が報じられた。「仕分け」とは検証と評価を指すようであったが、そのようなプロセスは、どこでも必要なのであろう。人も年末年始にあたって、往く年をふり返り、来たる年の決意とお願いをする。本年もよき年でありますように。

院長 小川 洋史

写真：シャモニ針峰群の夜明け(フランス) 撮影：小川洋史

新型インフルエンザ

感染対策委員長 医師 長屋 敬

新型インフルエンザとは



インフルエンザウイルスは大きく分けてA,B,Cの3つの型がありますが、ヒトで流行するのはA型とB型です。A型はウイルスの表面の突起によりいくつかの型に別れ、H1N1(ソ連型)、H3N2(香港型)などがあります。

2009年初めには病原性の高い鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)が変異をして人に感染し、それが大流行となることが懸念されていました。しかし、実際にはブタのインフルエンザのH1N1型が人への感染をおこし、2009年4月のメキシコでの発症から世界的大流行になっています。日本でも検疫での厳重な監視の甲斐もなく5月に発症が確認され、その後、全国に広がっています。

一般に、新型インフルエンザというのは、この“ブタインフルエンザ”のことを指しています。

インフルエンザの感染経路



季節性も新型インフルエンザウイルスも咳、くしゃみなどによる飛沫感染により広がります。ウイルスに感染すると、1-3日の潜伏期間の後、発熱、上気道症状などの症状が出現し、3-7日ほど続き、通常1週間ほどで自然治癒します。

慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、糖尿病などの代謝疾患、腎機能障害、ステロイド内服による免疫機能不全、妊婦、乳幼児、高齢者では重症化しやすいので注意が必要です。

けんこう百花65号

新生会
情報誌

#IOSPY

#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY

インフルエンザの診断

インフルエンザは、のどや鼻腔の拭い液を使って30分ほどで診断ができます。現在の検査キットでは季節性インフルエンザはA型とB型として、新型インフルエンザはA型として結果がでます。冬で両方のインフルエンザの流行期にはその区別はできません。しかし、季節性も新型インフルエンザも対処法、感染予防には変わりはありません。

季節性と新型インフルエンザの比較

	季節性インフルエンザ	新型インフルエンザ
症状	急激な38℃以上の発熱、呼吸器症状(せき、くしゃみ)、頭痛、関節痛、全身倦怠感など	季節性インフルエンザと同様
病因	A型(H1N1、H3N2)、B型	H1N1(ブタ由来)
感染力	強い	かなり強い
発生状況	流行性	大流行(パンデミック)
ワクチン	あり	あり
治療	対症療法、タミフル、リレンザ	季節性インフルエンザと同様
死亡率	0.1%以下	0.34~2.22%(地域により変動あり)



インフルエンザの治療

一般療法 安静、十分な睡眠、栄養を取ることを心がけます。脱水を防ぐために十分な水分を取る必要もあります。

対症療法 発熱に対しては基本的に冷却をして対応します。アセトアミノフェン以外の消炎鎮痛剤はインフルエンザ脳症を引き起こすので、安易に解熱剤を飲まないことです。通常の風邪薬にも含まれていますので注意が必要です。解熱剤に関しては医師の指示に従ってください。

抗ウイルス薬 インフルエンザウイルスに対して抗生物質は効きません。抗ウイルス薬をインフルエンザ発症48時間以内に服用することでウイルスの増殖が抑えられます。抗ウイルス薬には、A型のみにも効果があるシンメトレルとA、B型両方に有効なタミフル、リレンザがあります。タミフル内服後の異常行動の問題があり、10歳代の内服は原則禁忌となっています。



インフルエンザの予防

流行前のワクチン接種

ワクチンはインフルエンザに罹った時の重症化を防ぎますが、ワクチン接種後、効果が表れるまでに2週間ほどを要します。今年は季節性インフルエンザ用ワクチンが不足していますし、新型インフルエンザ用ワクチンもリスクの高い人からの接種となっています。乳幼児、高齢者、妊婦、慢性疾患の患者さんなどはワクチン接種をお勧めします。

帰宅時の手洗い・うがい

咽頭粘膜、手などについたウイルスを除去します。

マスク着用、外出を控える

外出時にはマスクを着用し、人ごみなどへの不要な外出を控える。

十分な休養と栄養を取る

適度の湿度の保持

乾燥するとのどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザに罹りやすくなります。湿度を50-60%に保つようにすると効果的です。



マスクをしよう



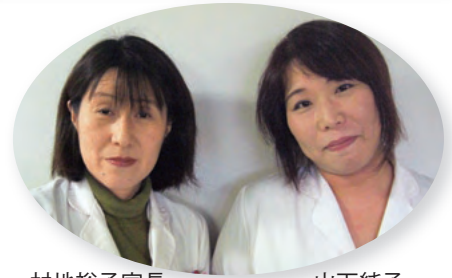
手洗いをしよう

病院スタッフの紹介

シリーズ第4弾
医療社会事業相談室 ケースワーカー編

患者満足度調査を2009年6月1日～6月30日の期間実施し、378名の方から回答を頂きました。調査結果より、当院のケースワーカーについて周知されていないという回答を受けて、今回は、ケースワーカーを紹介をします。

患者サービス推進委員会 島崎寛之



村地裕子室長

山下純子

ケースワーカーって何をする人？

医療社会事業相談室では、医療費や退院後の不安などに対して、患者さんやご家族が安心して治療に専念できるように、専門の相談員が、個別にご相談に応じています。

例えば、右記のような相談について社会保障制度を最大限に活用し、よりよい解決方法を一緒に考えています。お気軽にご相談下さい！

<場所> 4階 <相談時間> 9時～18時

<休日> 日・祝日 <相談料> 無料

<方法> 直接相談室へお越しいただくか、またはお電話ください。

* 事前に予約を入れていただくとありがたいです。

(相談内容のご紹介)

医療費に関する相談

「医療費の支払いができない」
「会社を退職予定。医療保険はどうなるか」等

生活費に関する相談

「働けなくなり収入がなくなった」
「生活保護は受けられるか」等

社会保障制度に関する相談

「介護保険について知りたい」「身体障害者手帳の申請をしたい」
「障害年金の対象となるのか」等

転院・施設入所の相談

「認知症があり施設へ入所を考えたい」
「退院と言われても家で介護できない」等

在宅療養の相談

「家で介護をしたい」「介護用の電動ベッドを借りたい」等

薬剤科の新しい取り組み

処方箋に腎機能を記載しています。

新生会第一病院 薬剤科 伊藤哲也

現在、薬剤科では検査科、医事課に協力してもらって、患者さんの腎臓の機能の良し悪しを処方せんに記載する仕事を進めております。処方せんに腎機能が記載されると何がよくなるのでしょうか？

腎臓は体の中の老廃物を尿から捨てる働きをしていますが、薬も腎臓から排泄される場合がかなりあります。腎臓の働きが悪くなると、薬によっては量を減らして使わなければならないとなったり、他の薬に切り替えなければならない場合が出てきます。

このような問題を医師、薬剤師が常にチェックするには、処方せんに患者さんの腎機能を記載することが最も合理的で、これにより薬の使用がより安全になりました。これまでに約800名の患者さんの腎機能を評価し処方せんに登録しましたが、今後も検査(血液検査のクレアチンの結果から推定式を使って計算します)を行なった患者さんはすべて評価登録を行なっていきます。

腎機能の正確な計算のため患者さんに身長、体重をお尋ねする場合がありますが、ご協力お願いいたします。



薬事日報(業界紙)に紹介されました

第12回新生会オープンセミナーのお知らせ

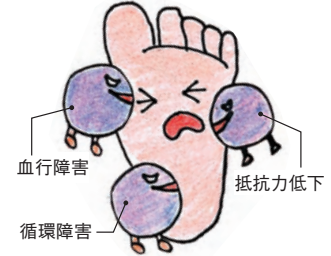
『糖尿病の新しい治療の話』～経口糖尿病薬とインスリンについて～

社会保険中京病院 内分泌代謝科主任部長 田中博志

『フットケア』～自分の足を守るために～

新生会第一病院 看護師 佐久間恵巳

糖尿病は生活習慣病の1つで、とても身近な病気です。最近の糖尿病の予防と治療について、専門医師と看護師がお話します。糖尿病にならないよう、また糖尿病がひどくならないよう、自分の生活を振り返りながら一緒に学びましょう。



日 時：2010年2月13日(土) 午後1時30分～3時30分

場 所：新生会第一病院 集会室

お問合せ先：健康ネットワークいきいき(近藤・大坪) TEL(052)832-8411(代表)

透析ハンドブック

～よりよいセルフケアのために～第4版のご案内

新しい情報を盛り込み、9年ぶりに全面改訂して、11月に医学書院より発行しました。

当院院長監修の元、透析医療に携わる看護師、臨床工学技士、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、ソーシャルワーカーが執筆しました。特に、検査データの読み方、合併症、薬などは、かなり変更になっています。皆様のお役立ていただければ幸いです。ぜひご覧ください。

書店・当院売店でお求めいただけます 定価 2940円



外来診療科一覧

平成22年1月4日～(予定が変更する場合がございますので、ご了承ください)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
腎・一般内科	午 前	○	○※1		○	○	○
整形外科・リウマチ科	午 前	○	○※2			○	○
シャント外科	午 前	○	○	○	○	○	
内分泌(甲状腺)糖尿病※3	午 後	○			○	○	

※1 総合内科

※2 整形外科・リウマチ科の午後の診察あり

※3 内分泌(甲状腺)糖尿病に受診した後に、糖尿病栄養外来を行っています

* その他、副甲状腺外来、家庭透析、CAPDの診察も行っております

** 当院外来では、予約制を実施しております。(初診の患者様、急変した再診の患者様、又、再診の方でも急に受診日を変更したい場合等は、予約がなくても受付けますので来院ください)

*** 緊急の場合はいつでも電話をして来院下さい。

新生会第一病院

住所 〒467-8633 名古屋市瑞穂区玉水町1-3-2

電話 (052)832-8411 FAX (052)832-8417

ホームページ <http://www.shinseikai.org>

○診療内容○

腎・一般内科、整形外科・リウマチ科、シャント外科、内分泌(甲状腺)糖尿病、総合内科、副甲状腺外来、家庭透析、CAPD、糖尿病栄養外来

※当院外来では、予約制を実施しております。(初診の患者様、急変した再診の患者様、又、再診の方でも急に受診日を変更したい場合等は、予約がなくても受付けますので来院ください)

